

平成26年度文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」
(共同制作支援事業)

F.レハール◎喜歌劇「メリー・ウィドウ」全3幕
(字幕付原語(ドイツ語)&一部日本語上演)

メリー・ウィドウ

FRANZ LEHÁR



Franz Lehár "Die lustige Witwe" operette in drei akten

Mirko : Sebastian Huppmann
Valencienne : Sara Kobayashi
Danilo : Peter Bording
Hanna : Satomi Ogawa
Camille de Rosillon : John Ken Nuzzo
Vicomte : Hironori Jo
Raoul de St.Brioche : Masahiko Hare
Njegus : Dario Toda

Special Guest:Melanie Holliday

Conductor : Michael Balke
Orchestra(2.22) : Yomiuri Nippon Symphony Orchestra
Orchestra(2.28) : Orchestra Ensemble Kanazawa
Chorus(2.22) : Toho College of Music Chorus
Chorus(2.28) : "Die lustige Witwe" Special Chorus

Director,Text : Doji Shigeyama

ミルコ・ツェータ (ボンテヴェドロ国の東京駐在公使) : セバスチャン・フップマン
ヴァランシエンヌ (日本出身のツェータの妻) : 小林沙羅
ダニロ・ダニロヴィッチ (大使館の書記官) : ペーター・ボーディング
ハンナ・グラヴァリ (日系ボンテヴェドロ人で資産家の未亡人) : 小川里美
カミーユ・ド・ロジヨン (フランス人) : ジョン・健・ヌッツォ
カスカーダ (日本人) : 城 宏憲
ラウル・ド・サンブリオシュ (日本人) : 晴 雅彦
ニェーグシュ (大使館の参事官) : 戸田ダリオ
スペシャルゲスト : メラニー・ホリディ

東京芸術劇場 シアターオペラ vol.8

東京芸術劇場コンサートホール

15:00開演 14:00ロビー開場

sun.22.Feb.2015 at 15:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

金沢歌劇座

15:00開演 14:00ロビー開場

sat.28.Feb.2015 at 15:00 The Kanazawa Theatre

2015.2.22 | 日 |

2015.2.28 | 土 |

指揮：ミヒャエル・バルケ

管弦楽：読売日本交響楽団[東京]

オーケストラ・アンサンブル金沢[金沢]

合唱：東邦音楽大学合唱団(合唱指揮：加門伸行)[東京]

メリー・ウィドウ特別合唱団[金沢]

演出&台本：茂山童司

副指揮：佐藤正浩、コレペティトゥール：大藤玲子

舞台監督：黒柳和夫(俳ネクステージ)

美術：杉原邦生、照明：伊藤雅一(藤流)

音響：石丸耕一(東京芸術劇場)

振付：小尻健太 ヘアメイク：藤フォレスト 大道具製作：北五美術

衣裳：藤エフ・ジー・ジー 今井沙織里

演出助手：谷 竜一

ドラマトゥルク、翻訳・字幕：横堀広彦

舞台コーディネイト：関 秀哉、中嶋沙弥奈(俳童司カンパニー)

舞台制作：藤RYU/金沢舞台/俳童司カンパニー

ミルコ・ツェータ(ポルトガル共和国の東京駐在公使)

ヴァランシエンヌ(日本出身のツェータの妻)

ダニロ・ダニロヴィッチ(大使館の書記官)

ハンナ・グラヴァリ(日系ポルトガル人で資産家の未亡人)

カミーユ・ロジヨン(フランス人)

カスカーダ(日本人)

ラウール・ド・サンプリオシュ(日本人)

ニュエグシュ(大使館の参事官)

ボグダノヴィッチ(ポルトガル領事)

シルヴィアヌ(領事夫人)

クロモフ(ポルトガル公使館参事官)

オルガ(参事官夫人)

プリチッチ(ポルトガルの退役陸軍大佐)

プラスコヴィア(大佐夫人)

スペシャルゲスト

:セバスチャン・フップマン

:小林沙羅

:ペーター・ボーディング

:小川里美

:ジョン・健・ヌツォ

:城 宏憲

:晴 雅彦

:戸田ダリオ

:新井 克

:武藤直美

:津田俊輔

:外山 愛

:根本龍之介

:石井 藍

:メラニー・ホリディ

東京公演

東京芸術劇場 シアターオペラ vol.8

2015.2.22 | 日 | 15:00開演 東京芸術劇場
14:00ロビー開場 コンサートホール

チケット料金〈全席指定〉

S ¥10,000 A ¥8,000 B ¥6,000 C ¥4,000 D ¥3,000 E ¥1,500

チケット取扱い

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

チケットぴあ [Pコード:239-873] 0570-02-9999

ローソンチケット [Lコード:39307] 0570-000-407

イープラス <http://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

チケット発売中 <http://www.geigeki.jp/>

キッズルームミュージズのご案内 *予約申し込み・詳細は、下記にお問い合わせください。

申込み・問合せ先:芸劇キッズルームミュージズ 03-3981-7003

金沢公演

2015.2.28 | 土 | 15:00開演 金沢歌劇座
14:00ロビー開場

チケット料金〈全席指定〉※当日券各500円高 ※学生席は音楽堂チケットボックスのみの取り扱い

S ¥8,000 A ¥6,000 B ¥4,000 学生席(高校生以下) ¥2,000

チケット取扱い

音楽堂チケットボックス 076-232-8632

金沢歌劇座 076-220-2501

香林坊大和プレイガイド 百番街プレイガイド

ローソンチケット [Lコード:52810] チケットぴあ [Pコード:245-879]

※OEK会員・邦友会会員割引S席のみ1,000円引き(音楽堂チケットボックスのみの取り扱い)

チケット 11月1日(土)発売

託児ルーム(有料)あります。TEL 076-232-8111

利用される方は2月25日(水)午後5時までに申し込みください。

チケットの購入に当たり、下記の通りご了承ください ●出演者は現在(2014年9月)の予定です。病気や怪我などのやむを得ない理由による変更の可能性がございます。その場合のチケットの払い戻しは対応いたしかねます。●チケットをお申し込みいただいた後のキャンセル、変更はできません。●開演時間に遅れますと、次の幕間まで客席への入場ができません。モニターでの鑑賞となりますので、ご注意ください。●会場内での写真撮影、録画は固くお断りいたします。●未就学児童の入場はご遠慮いただきます。●お席によって字幕の見切れ、舞台装置により見切れる場合がございますがご了承ください。

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL:03-5391-2111
＜アクセス＞JR,東京メトロ,東武東上線,西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通線の2a出口で直結しています。



金沢歌劇座

〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番地27番地
TEL:076-220-2501

＜アクセス＞北陸鉄道バス金沢駅東口バスのりば「華園車庫」(金沢駅南口)「金沢学院大学」(本多町)下車



主催◎公益財団法人石川県音楽文化振興事業団、公益財団法人金沢芸術創造財団、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人読売日本交響楽団(東京公演)
助成◎ 平成26年度文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」(共同制作支援事業)、公益財団法人朝日新聞文化財団(金沢公演)、公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団(東京公演)

後援◎北國新聞社(金沢公演)、(一財)石川県芸術文化協会(金沢公演)

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

石川県音楽文化振興事業団・金沢芸術創造財団
(問い合わせ先)TEL 076-232-0171・TEL 076-223-9898

前回、東京を舞台に全く新しい視点の新演出が大きな話題となった"こうもり"の続編としていよいよ上演!

スペシャルゲストとしてウィーンフォルクスオパーの伝説的名歌手、メラニー・ホリディを再び迎え、

日本からは新演出の設定役柄に相応しい適材適所の名歌手をキャスティング!

舞台は近未来の東京…

東南アジアにある架空の王国"ポンテヴェドロ"の大使館が主宰するパーティー会場。

国王の誕生日に際し、国内経済の明暗を握るハンナが訪れるという…。

ポンテヴェドロ国の東京駐在公使ミルコ、日本出身でその妻ヴァランシエンス、

日系ポンテヴェドロ人で資産家の未亡人ハンナ、フランス人カミーユ、

日本人のカスカダ、ラウルなどが繰り広げる

視覚的にも聴覚的にも全く新しい日本版"メリー・ウイドウ"を上演!!

FRANZ LEHÁR *Die lustige Witwe*



ミヒヤエル・バルケ [指揮]

Conductor: Michael Balke

ドイツ生まれ。シンシナティ音楽院で指揮とピアノを学ぶかたわら、ピーター・ウンジャン、ラサル弦楽四重奏団、東京弦楽四重奏団等著名アーティストと共演、首席で卒業する。リーベック国立音楽大学で名ピアニストのG.トッコに師事した。2004年ハンブルク室内歌劇場の指揮者に就任、『フィガロの結婚』、『コジ・ファン・トゥッテ』等70公演以上の音楽監督を務める。また、2005年からはハンブルク・オペラサロンを創設して若手歌手の育成に取組み、ハンブルク国立歌劇場との共同制作を行う。

2008年より名指揮者R.フリッツァのアシスタントを務め、巨匠ズービン・メータのリハーサルに参加。2009年マンハイム国立歌劇場の『椿姫』、2010年、マグデブルク歌劇場の『カルメン』、2011年以後クレモナ、コモ、パヴィーア等イタリア各地で指揮をし大成功を収めた。ハンガリー国立歌劇場の『ニーベルングの指環』新演出の副指揮者に招かれて全4部作の指揮に当る。同年、マグデブルク歌劇場第1カペルマイスター就任。以来、『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、『魔笛』、『ドン・カルロ』、『バラの騎士』等多くの演目の指揮を手掛け高い評価を獲得している。2014年、Lポストリッジとフランスのモンペリエ国立歌劇場に登場して話題を呼ぶ。将来を期待される若手オペラ指揮者の一人。R.ワーグナー財団パイロイト賞受賞。



セバスチャン・フップマン

[ミルコ・ツェータ(ポンテヴェドロ国の東京駐在公使)]

Mirko: Sebastian Huppmann

オーストリア生まれ。幼少からウィーンのモーツァルト少年合唱団のソプラノリストを5年間務めた。その後、ウィーン音楽大学でセバスチャン・ヴァイトゥッチ教授に師事、2004年プリミエで卒業。その後、キャロル・ブクラナー=メイヨに声楽を、カロリン・ハーグ、ビルギット・シュタインベルガーにリート・オラトリオを師事。A.キルヒシュラーガー等多くのマスタークラスにも参加している。数々の国際声楽コンクールで入賞していることから、ヨーロッパでコンサートソリストとしてヘンデルのメサイア、J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」等多くの公演に出演しキャリアを積んだ。近年はオペラの分野に力を入れており、モーツァルトのドン・ジョヴァンニ、ババゲーノ(魔笛)、グリエルモ(ロジ・ファン・トゥッテ)、エスカミーリオ(カルメン)といった役でウィーン国立歌劇場を初め、ハーグ、ロッテルダム、オデッサ等の各歌劇場に出演している。2014年2月に金沢&東京での「こうもり」で日本デビュー。

http://www.sebastianhuppmann.com/



小川里美 [ハンナ・グラヴァリ]

(日系ポンテヴェドロ人で資産家の未亡人)

Hanna: Satomi Ogawa

東京音楽大学ならびに同大学院終了。新国立劇場オペラ研修所6期生修了。これまでに国内外でのオペラや演奏会に出演し、アリーナ・ディ・ヴェローナ・オーケストラ、読売日響、新日フィル、日フィル、大フィル、名フィル、京響、札響、O E K、他と共演。2009年ヴェローナのテアトロ・フィラルモニコにおいて「トゥーランドット」のタイトルロールでイタリアデビュー。2011年には東京・京都で行なわれたマスカーニ「イリス」にタイトルロールで出演し、可憐な舞台姿と情熱的な歌唱で絶賛を受けた。2014年は2月に金沢&東京で「こうもり」(ロザリンデ)、7月に兵庫芸術文化センター「コジファン・トゥッテ」等に出演。第19回日本声楽コンクール第3位。第44回日伊声楽コンクール第3位。09年トゥーランドット国際コンクール優勝。



ジョン・健・ヌッツォ

[カミーユ・ド・ロジヨン(フランス人)]

Camille de Rosillon: John Ken Nuzzo

2000年に世界三大歌劇場の一つであるウィーン国立歌劇場でデビューし、オーストリア芸術新人大賞「エバーハルト・ヴェヒター・メダル」を受賞。フォルクスオパー、ザルツブルグ音楽祭に出演した後、巨匠ジェームズ・レヴァインの招待によりメトロポリタン歌劇場にデビュー。NHK大河ドラマ「新選組!」のテーマ曲を歌い、NHK紅白歌合戦に2度出場。天皇皇后陛下とローマ法皇に歌声を披露した経験をもつ。第9回日本声楽コンクール第1位、第13回出光音楽賞受賞。

http://www.jkn-tenorissimo.com/



戸田ダリオ [ニューゲシュ(大使館の参事官)]

Njegus: Dario Toda

東京都で生まれる。日本とイタリアのハーフ。日本語、英語、イタリア語を話すトライリンガル。上智大学で演劇に出会い、卒業後は演劇(ミュージカル)の道に入る。舞台は「ピーターパン」、「アン・シャーリー物語」等に出演。テレビでは「英語であそぼ」、「セサミストリート」等の幼児番組、「新感覚・分かる使える英文法」等の語学番組、「はなまるマーケット」等の情報番組に出演。俳優、ナレーター、ボイスアクター、歌手、作曲家と様々な分野で活動中。

CAST PROFILE

レハールが生み出したオペレッタ『メリー・ウィドウ』は20世紀初頭のパリで小国ポンテヴェドロの人々を中心に繰り広げられる、恋とお金にまつわる喜劇です。今回の上演ではこの作品を、東南アジアの経済立国ポンテヴェドロという架空の国の人々が現代の東京で起こす、可笑しくもちょっぴり切ない物語として、100年以上前に創られた名作に新たないのちを吹き込みたいと思います。

昔物語の多くは、節度を持って生きることの大切さや欲張りすぎた者の末路を繰り返し我々に教えています。それらの例に漏れず、華やかなりし大戦前のウィーンで作られたこの作品『メリー・ウィドウ』も、過度に経済発展を追い求める現代の我々に警鐘を鳴らしているようにも読むことが出来ます。経済や国家という「大きなモノ」に振り回されつつも精一杯自分の心に誠実に生きようとする登場人物達の憎めない姿を感じ取ってください。

演出&台本 茂山童司

【あらすじ】

20XX年、東南アジアの小国ポンテヴェドロは先の世界的経済危機のせいで深刻な不況に陥っていた。積極的な金融緩和による国際企業誘致でここ数十年に渡って発展を遂げたこの多民族国家は、この不況によって国家破綻の危機を迎えていた。そんななか、国を最後まで支えてきた大物投資家が突然死去したとの一報がもたらされた。彼の持つ莫大な資金が同国を離れてしまえば、他の投資家達も一斉に沈没船から逃げ出すのは確実、焦ったポンテヴェドロ政府は資金をつなぎ止めるべく、投資家の未亡人がいる日本大使館に急速未亡人を同国に留め置くための指令を出したのだった…。

Ich bin eine anständige Frau!



©Nippon Columbia

小林沙羅

[ヴァランシエンヌ(日本出身のツェータの妻)]

Valencienne:Sara Kobayashi

東京藝術大学卒、同大学院修了。2011年度文化庁在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。ウィーン在住。2012年ソフィア国立歌劇場にて欧州デビュー、『愛の妙薬』アディーナ、『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタを演じた。『こもり』アデーレ(佐渡裕指揮)、『トゥーランドット』リュウ(井上道義指揮)、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル(下野竜也指揮)、千住明作曲『万葉集』(初演)、三枝成彰作曲『KAMIKAZE』愛子(初演)等に出演。「NHKニューイヤーオペラコンサート」出演や「プロ野球コナミ日本シリーズ」での国家独唱でも注目を浴びる。2014年にデビューアルバム「花のしらべ」をリリース。

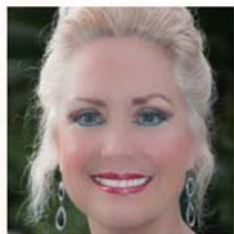
オフィシャルHP : <http://sarakobayashi.com/>



城 宏憲 [カスカーダ(日本人)]

Vicomte:Hironori Jo

岐阜県出身のテノール歌手。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。新国立劇場オペラ研修所第10期修了。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修制度にてイタリアへ留学。帰国後、サイトウ・キネン・オーケストラとの共演を皮切りに、国内でのコンサート活動を開始し、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等と共演。2014年7月には「カルメン」ドン・ホセ役で再オペラ・デビューを果たし、リリコ・スピントとしての資質を開花させた。



メラニー・ホリディ

[スペシャルゲスト]

Special Guest:Melanie Holliday

アメリカ、テキサス州ヒューストン生まれ。幼少から14年間クラシックバレエを学んだ後、歌手に転向。インディアナ大学でオペラの学位を首席で取得。卒業後も声楽でW.フォスターに師事。1973年ヨーロッパへ渡り、クラウン・オペラ、バーゼル・マインツの歌劇場、1977年からウィーン・フォルクスオーパー専属を経て、現在はフリーの歌手として活躍。ウィーンフォルクスオーパーでは15年間の長期に渡り契約し、20の役でウィーンを代表するオペレッタ歌手として活躍した。特に「こもり」アデーレ、「メリー・ウィドウ」ヴァランシエンヌでは当たり役として世界中から賞賛を浴びる。その間、卓越したコロラトゥーラがバーンスタインの目に留まり、ドイツ語による「キャンディード」の初演に抜擢、バーンスタインの「ミサ」の出演と共に人気を博した。また、ウィーンフォルクスオーパー引越後公演を通じ数多くの国で演奏しており、特に日本には何度も来日し、こもり、メリー・ウィドウで数多くの舞台に出演しており、それらの舞台は、数多くのファンの中に深く記憶されている。2014年2月金沢&東京の「こもり」で久しぶりに日本でオペラに出演したことが記憶に新しい。

<http://www.melanieholliday.com/>



ペーター・ボーディング

[ダニロ・ダニロヴィッチ(大使館の書記官)]

Danilo:Peter Bording

オランダ生まれ。スウェーデン音楽院を優秀な成績で卒業し、ギルドホール音楽演劇学校にて、音楽と並行して演技にも力を入れて学んだため、歌唱ばかりでなく演技に関しても大変高い評価を得ている。レパートリーはアイゼンシュタイン(こもり)を初め、パバゲーノ(魔笛)・ダリエルモ(コジ・ファン・トゥッテ)・マルチェロ(ラ・ボエーム)・ジェルモン(椿姫)・エスカミーリョ(カルメン)等多くの聴衆から賞賛を得ている。定期的に出演する劇場は、アンデア・ウィーン劇場、シュツットガルト州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、パリ・オペラ座、リヨン国立歌劇場、ジュネーブ歌劇場、モネ劇場、マドリッド歌劇場、ハンガリー国立歌劇場といった様々なヨーロッパ主要劇場でA.フィッシャー、M.アルブレヒト、クライツベルク、ザクロツェック等多くの著名な指揮者とオペラ公演を行っている。2013年前半はエッセン州立歌劇場(ナクス島のアリアドネ)、ドルトムント歌劇場(カールマン・チャルダージュ)、シュベリ音楽祭(こもり)に参加している。2014年2月に金沢&東京での「こもり」で日本デビュー。

<http://www.peterbording.com/>



晴 雅彦

[ラウール・ド・サンブリオシュ(日本人)]

Raoul de St.Brioche:Masahiko Hare

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ベルリンに留学。ドイツ・ケムニッツ市立劇場「魔笛」/パバゲーノ役でヨーロッパ・デビュー後、同劇場「ヘンゼルとグレーテル」「ウィンザーの陽気な女房たち」、ドイツ・ザクセン州立劇場「蝶々夫人」、ドイツ・ラインスベルク音楽祭及び、スウェーデン・ヴァドステーナ音楽祭「ヴァルター」等に出演。国内では、新国立劇場「運命の力」「トスカ」「ルル」、東京芸術劇場「イリス」「カルメン」等、全国の主要な劇場に出演。C.ミョンフン、P.シュナイダー、D.エッティンガー等著名な指揮者と共演。NHK「名曲リサイタル」、「題名のない音楽会」、「秘密のケンミンSHOW」等に出演。大阪府芸術劇場奨励新人、大阪市・咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。大阪音楽大学准教授。



茂山童司 [演出&台本]

Director,Text:Doji Shigeyama

大蔵流狂言方。父茂山あきら、祖父二世茂山千之丞に師事。これまでに『千歳』、『三番三』、『釣狐』等の狂言の大曲を披く。語学に堪能でバイリンガル狂言を国内外で行う。2012年からはNHKの語学番組「プレキソ英語」に「カウドージ」としてレギュラー出演。狂言以外にも若手アーティストや詩人とのコラボレーション等活動の場を広げている。2013年からは作・演出を手がけるシリーズプロジェクト、新作「純狂言」集「マリコウジ」、コント公演「ハクマンベン」を始動させた。